

～九州・沖縄エリアの物流力を最大化～ 「ASKUL Logi PARK 福岡」、2015年12月30日より本稼働開始

～スタッフへの昼食無償提供など、庫内環境整備で高生産性稼働を目指す～

アスクル株式会社（本社：東京都江東区、社長：岩田彰一郎、<http://www.askul.co.jp/>、以下アスクル）は、現在稼働中の物流施設「アスクル福岡センター」（福岡県糟屋郡、以下福岡センター）の移転・拡充計画※1を進めておりましたが、2015年12月30日より、このたび新設した「ASKUL Logi PARK 福岡」（福岡県福岡市東区）を本格的に移動いたします。「ASKUL Logi PARK 福岡」は、受注から出荷まで最短20分というアスクルのスピード配送をささえる九州・沖縄エリアの基幹物流拠点※2として機能してまいります。

※1 福岡センターからの移管は2016年2月完了予定

※2 アスクルは全国で7箇所の物流センターを運営しており、これら基幹センターを通じて当日/翌日お届けのスピード配送を展開（一部地域除外あり）

「ASKUL Logi PARK 福岡」



在庫保管能力と出荷能力を2倍に増強

「ASKUL Logi PARK 福岡」は、アスクルが福岡市より取得した福岡市東区（福岡アイランドシティ）の用地に建設した地上4階建の物流センターです。現在稼働中の福岡センターは、2000年9月に開設されたもので、その後のアスクルの事業成長とともに拡張が続き、県内に分散した複数の物流拠点の機能集約・統合が課題でした。

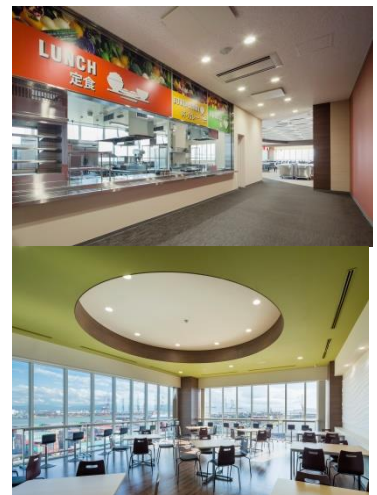
「ASKUL Logi PARK 福岡」は、コンベヤを中心としたマテハン設備にアスクルのノウハウを随所に施した出荷型の最新鋭の物流センターです。延床面積は約54,842平方メートル（約15,984坪）と福岡センターの約2倍の広さを誇ります。設備効率を最大限に生かすため、2フロアに跨ぐ高さ約14メートルのメーカー最大級のケース自動倉庫による在庫移動（補充）の自動化や自動梱包機 I-pack の導入による梱包工程の効率化など、自動化、省人化、省資源化をテーマに自社設計しました。

働きやすい環境づくりへ

「ASKUL Logi PARK 福岡」は、アスクルで初めて物流施設内に本格的な調理設備を設置し、スタッフへの昼食の無償提供を開始します。食堂運営は、福岡県で数多くの運営実績をもつ学校法人中村学園事業部（福岡県福岡市）に業務委託します。一汁三菜を基本としたバランスの良い温かい食事の提供で、施設で働くスタッフの健康に配慮した環境づくりを目指します。その他、太陽光発電設備の設置や倉庫内照明のLED化など環境対応型の施設となっています。

「ASKUL Logi PARK 福岡」は、博多港、福岡空港、博多駅、福岡インター、JR貨物など、陸海空の交通連結点が半径10km以内に集積するなど物流施設として好適な立地で、法人向け事業のみならず、今後のアスクルのビジネス拡大を視野にその機能拡張に余地を残しています。

今後アスクルは、「ASKUL Logi PARK 福岡」を戦略拠点に、さらに便利なサービスをご提供してまいります。



施設の概要

名称：ASKUL Logi PARK 福岡

所在地：福岡市東区みなと香椎二丁目 25 番 12

敷地面積：約 24,905 平方メートル(約 7,533 坪)

延床面積：約 54,842 平方メートル(約 15,984 坪)

建物階数：地上4階建

総投資概算額：約 100 億円(土地、建物、マテハン総計/交付金含まず)

交付金：約 14 億円(土地・建物・設備の合計)

主な付帯設備：従業員向け食堂、太陽光発電設備、倉庫内照明の LED 化

※本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。